

令和4年1月7日 メルボルン交流抄

平松礼二画伯

今回は日本画の画家、平松礼二画伯を紹介させていただきます。

20年ほど前に仕事の御縁で知己を得て、それ以来、2006年の町立湯河原美術館平松礼二館開館の式典をはじめ、数々の個展にもお招きいただきました。夫婦共々、先生の作品の長年にわたる大ファンです。平松先生は、19世紀後半にモネをはじめとするヨーロッパの多くの芸術家を魅了した「ジャポニズム」を独自の視線から探究し続けておられます。平松先生の作品は特にヨーロッパで人気を博しています。昨年フランスから藝術文化勲章をめでたく受勲されました。平松先生の作品はここオーストラリアでも高い評価を得られるものと思います。

その平松先生から、このたび「日本の祈り」という題目で日本の美を華麗に描いた作品を在メルボルン総領事館（公邸）に寄贈いただきました。昨年末に無事に届き、今後多くのオーストラリアの方々、そして在留邦人の方々にご覧いただきたいと思えます。コロナ禍の厳しい状況が続く中で、国籍、年齢、性別を問わず人々を魅了し、夢と希望、そして勇気を与えてくれるような作品だと思えます。



「日本の祈り」平松礼二

島田順二